

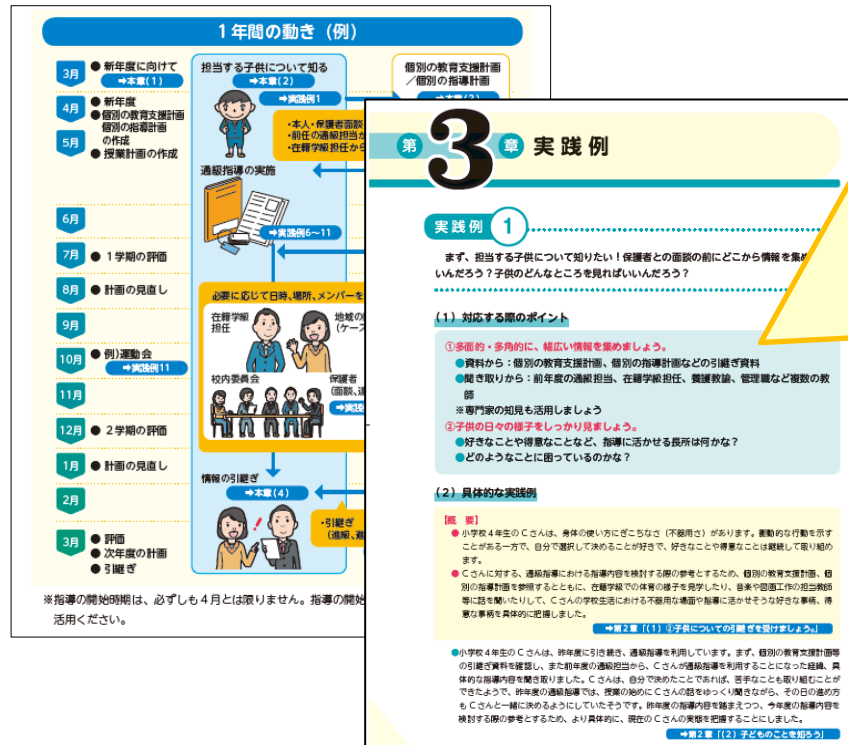
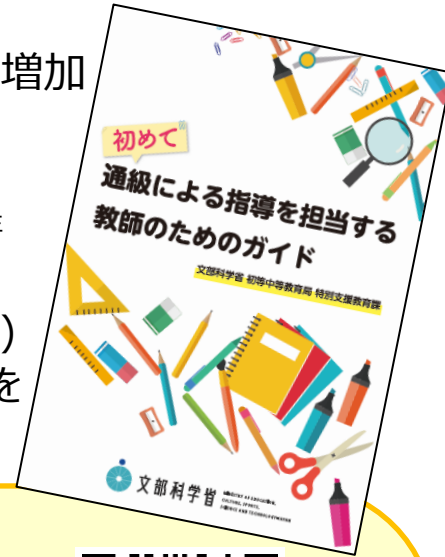
「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」

【経緯】

「通級による指導」*を受ける児童生徒数は年々増加している状況であり、児童生徒数の増加に対応した教師の質の担保が喫緊の課題となっています。

*学校教育法施行規則第140条に基づく、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒が、各教科等の大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について、障害に応じた特別の指導を特別な場で受ける教育形態。（小・中学校はH5年度、高校はH30年度から制度化）

文部科学省では、「通級による指導のガイドの作成に関する検討会議」（H31.2~R2.3）における検討を踏まえ、初めて担当する教師にとって分かりやすく、手に取りたいと思うガイドを目指し、標記のガイドを作成しました。



第1章 通級指導を担当するに当たって

第2章 通級指導の1年間の流れ

第3章 実践例

第4章 知っておきたい基本事項・用語

【作成のポイント】

- 専門用語を避け、平易で簡潔な説明とする。
- イラスト、図を活用。既存の参考資料等をQRコードで紹介。
- 16の実践例を紹介。
- 動画資料（2例）を作成。→



※ガイドは文科省HPで公開



(保護者面談の様子)



(子供の指導の様子)

第

1

章

通級指導を担当するに 当たって

初めて担当になって不安な気持ちもあると思います。でも、みなさんがこれまでの授業で行ってきたように「**担当している子供を丁寧に見て、指導や支援を工夫する**」ことは、通級指導においても同じです。これまで経験したことを活かしながら取り組みましょう。

(1) 障害による学習面や生活面における困難の改善・克服に向けた指導が基本です。

通級指導に通う子供は、読み書きに時間がかかったり、友達とのコミュニケーションが上手く取れなかったりするなど、障害があることによって学習面や生活面で困難があります。通級指導では、子供の自立を目指し、障害による困難を改善・克服するため、一人一人の状況に応じた指導を行います。

まず、その困難さの要因と考えられる障害の特性を、本人や保護者、同僚、関係機関等の専門家から得た情報などを基に整理してみてください。

(2) 一人一人の状況や願いに応じた指導を心掛けましょう。

通級指導に通う子供やその保護者の思いは、様々です。一人一人の思いや願いなどに耳を傾け、寄り添いながら、どのような指導や支援をするのがよいかを考えましょう。

通級指導には、決まった教科書や教材はありません。まず、子供の困難さやその要因と考えられる障害の特性、「こうしたい」という願いを理解しましょう。そして、その子供に合った指導目標を立て、学びやすいように教材や教具を工夫しながら指導を行いましょう。その際、本人の得意な面からアプローチすることが大切です。



○専門用語を避け、平易で簡潔な説明とする。

制度の解説ではなく、どのような意識で通級指導の担当にあたれば良いのかを伝える。また、通級指導が、利用する子供や保護者にとって、どのような場となるのか、イメージしやすいように伝える。

(1) 通級指導に通っている子供は、こんなことに困っています。

通級指導に通っている子供はいろいろなことに困っています。その一部を紹介します。困っていることが複数ある子もいます。

弱視の子供たちは・・・

●拡大鏡などを使っても、通常の文字や図形などの認識に少し時間がかかることがあります。

詳細は「教育支援資料」
第3編 1. 視覚障害(文部科学省)



読むのに時間がかかるから、授業が遅れをとってしまう。観察する時に、たくさん触ったり、顔を近づけて観たりするから、友達から変に思われていないかな。



情緒障害の子供たちは・・・

●集団の中で緊張してしまったり、感情と行動のコントロールが難しく不適切な行動をとってしまったりすることがあります。

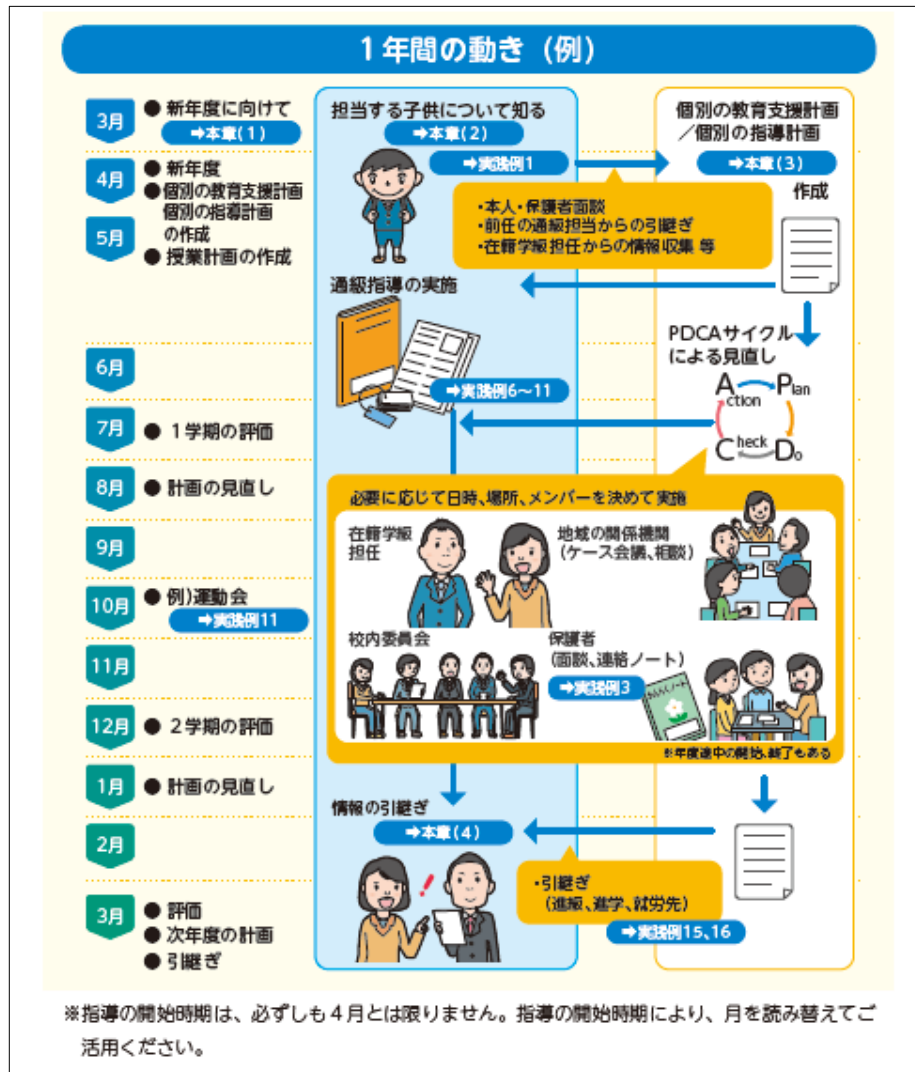
詳細は「教育支援資料」
第3編 7. 情緒障害(文部科学省)



みんなが声を掛けてくれるのは嬉しいけど、かえって緊張して話せなくなっちゃうんだよね。



「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」の作成③



○イラスト、図を活用。
既存の参考資料等をQRコードで紹介。

目で見て分かりやすい内容とするため、イラストや図を活用し、また、既存の資料に記載がある事項については、適宜、QRコードでリンクを掲載する。

個別の指導計画に記載される内容 (例)

Bさんの生活上、学習上の課題、指導目標及び指導計画(年間、学期、単元)、指導内容、指導方法、通常の学級において必要な支援、取り組んだ結果、何ができたのか、何ができなかったのか、今後の課題などが記載されています。 →実践例4

実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れについては、特別支援学校学習指導要領解説「自立活動編」を参照(P.128～)



..... 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成に当たって

個別の教育支援計画については、学校が中心となって、Bさん及びBさんの保護者の願いを踏まえつつ、Bさんの将来を見据えた長期的な視点に立ち、関係者(機関)による複数の視点で作成されることが大切です。関係者と必要な情報を共有しながら作成することで、それぞれの役割の明確化にもつながります。

個別の教育支援計画の作成については、「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について(通知)」(文部科学省)を参照



第3章 実践例

実践例 1

まず、担当する子供について知りたい！保護者との面談の前にどこから情報を集めればいいだろうか？子供のどんなところを見ればいいだろうか？

(1) 対応する際のポイント

①多面的・多角的に、幅広い情報を集めましょう。

- 資料から：個別の教育支援計画、個別の指導計画などの引継ぎ資料
 - 聞き取りから：前年度の通級担当、在籍学級担任、養護教諭、管理職など複数の教師
- ※専門家の知見も活用しましょう

②子供の日々の様子をしっかりと見ましょう。

- 好きなことや得意なことなど、指導に活かせる長所は何か？
- どのようなことに困っているのかな？

(2) 具体的な実践例

【概要】

- 小学校4年生のCさんは、身体の使い方にぎこちなさ（不器用さ）があります。衝動的な行動を示すことがある一方で、自分で選択して決めることが好きで、好きなことや得意なことは継続して取り組みます。
- Cさんに対する、通級指導における指導内容を検討する際の参考とするため、個別の教育支援計画、個別の指導計画を参照するとともに、在籍学級での体育の様子を見学したり、音楽や図画工作の担当教師等に話を聞いたりして、Cさんの学校生活における不器用な場面や指導に活かせるような好きな事柄、得意な事柄を把握しました。

各実践例において、Qに対して、

(1)対応する際のポイント (2)具体的な実践例 を示す。

※一部の実践例について、よりイメージを持ちやすいように、動画資料を作成（QRコードで紹介。）

- 16の実践例を紹介。（保護者面談時の対応、教材や教具の準備について など）
- 動画資料を作成（QRコードで紹介）。

- 1 まず、担当する子供について知りたい！保護者との面談の前にどこから情報を集めればいいだろうか？子供のどんなところを見ればいいだろうか？
- 2 初めて通級指導に通う子供（本人）やその保護者との面談は、何に気をつけ、どのように進めたいだろうか？
- 3 子供（本人）やその保護者の願いや思いを知るには、どんな機会があるのだろうか？
- 4 指導目標、指導内容、指導方法は、個別の指導計画にどの程度、具体的に示せばいいだろうか？また、どうやって、それらを決定すればいいだろうか？
- 5 年間の指導スケジュールをどんなふう立てればいいのか？
- 6 1単位時間の授業計画は、どんなふう立てればいいのか？
- 7 決まった教科書はないというけれど、教材や教具は、どうしたらいいだろうか？
- 8 準備した課題に、なかなか取り組むことが難しい子供には、どんな対応をすればいいだろうか？
- 9 補習をやる場所ではないけれど、教科の内容を活用できないかな？
- 10 通級指導を、在籍学級での各教科等の指導に、どんなふう活かしていけるかな？
- 11 そろそろ運動会の時期だ。学校行事を上手く活用できないかな？
- 12 担当している子供が、最近、通級指導を欠席したり、遅刻したりすることが多くなってきている。どうしたらいいだろうか？
- 13 担当している子供について、ケース会議を行うことになった。何を準備すればいいだろうか？
- 14 担当している子供が、放課後等デイサービスを利用している。そこでは、どんなことをして過ごしているだろうか？知りたいな。
- 15 そろそろ年度末。次年度の通級担当に、何を、どうやって引き継げばいいだろうか？
- 16 担当している子供は、もうすぐ中学生。中学校には、どう引き継げばいいだろうか？

「通級による指導のガイドの作成に関する検討会議」委員名簿

(令和2年3月末時点)

- 石隈 利紀 東京成徳大学大学院 心理学研究科長・教授
蒲田 紀孝 長崎県教育センター教育支援研修課特別支援教育研修班 指導主事
川嶋 栄子 世田谷区立笹原小学校 主任教諭
小貫 悟 明星大学心理学部心理学科 教授
酒井 昌史 千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課 課長
酒井 康年 社会福祉法人からしだね うめだ・あけぼの学園 副園長・作業療法士
一般社団法人日本作業療法士協会 常務理事
◎ 穴戸 和成 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 理事長
長瀬 和美 練馬区立旭丘小学校 主任教諭
野口 晃菜 株式会社LITALICO、LITALICO研究所 所長
本田 秀夫 信州大学医学部子どもものこころの発達医学教室 教授
三嶋 和也 千葉県立船橋夏見特別支援学校 主幹教諭
吉成 千夏 豊島区立池袋本町小学校 主幹教諭

(◎：座長、氏名50音順、敬称略)

<オブザーバー>

- 笹森 洋樹 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター センター長
西牧 謙吾 国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター センター長

<事務局>

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課